

# SBS方式前提の政府のTPP影響試算は成り立たず。TPP批准はやめるべき

輸入米の取引で、調整金と呼ばれる裏金を使った価格偽装が発覚し、日本共産党の**島山和也議員**は4日の衆院予算委員会で、輸入米の「売買同時入札」(SBS)を取り上げ、コメの市場価格への影響調査を徹底し、政府のTPP影響試算の撤回を求めました。

政府はミニマムアクセス(最低輸入機会)77万ト(MA米)を輸入しています。そのうちの10万トが食用米SBS方式で輸入されています。商社が輸入し、それを政府が買い入れ、事実上の関税であるマークアップを上乗せして卸売業者に売り渡し

ます。輸入米の価格と国産米とを同水準にし、国産米への影響を防止する仕組みです。**裏で「調整金」**

しかし、商社から卸売業者への「調整金」と呼ばれるリベートの支払いが横行し、輸入米が公表より安く出回り、すでに国産米に被害を与えているとみられます。政府はTPPで、米国産米とオーストラリア産米をSBS方式で7万8400ト輸入する枠を新設しています。

**MA米が根源** 輸入増加相当分の国産米を備蓄米として買い入れるので「生産量や農

事実に基づき、政府はTPP影響試算の撤回を求めました。政府はミニマムアクセス(最低輸入機会)77万ト(MA米)を輸入しています。そのうちの10万トが食用米SBS方式で輸入されています。商社が輸入し、それを政府が買い入れ、事実上の関税であるマークアップを上乗せして卸売業者に売り渡し

ます。輸入米の価格と国産米とを同水準にし、国産米への影響を防止する仕組みです。**裏で「調整金」**

しかし、商社から卸売業者への「調整金」と呼ばれるリベートの支払いが横行し、輸入米が公表より安く出回り、すでに国産米に被害を与えているとみられます。政府はTPPで、米国産米とオーストラリア産米をSBS方式で7万8400ト輸入する枠を新設しています。

**MA米が根源** 輸入増加相当分の国産米を備蓄米として買い入れるので「生産量や農

## 質疑から

**島山議員**「SBSの輸入米は、もともとミニマムアクセスの一部です。ミニマムアクセスが始まって21年になります。政府は全量を買う必要がないのに77万ト買い続けてきました。しかし、売り先がないために保管し続けたり、飼料用に安く売るなどして損失を出しています。今まで一体どれほどの損益を出してきたか、答えてください」**柄澤政府参考人**「SBS方式はマークアップによる収入がございまして、大部分を占めます。一般輸入方式におきましては売買差損が生じ、平成7年度から26年度まで、合計3135億円の損失となっている」

**島山議員**「巨額の税金を使ってきたわけで、財務省からも削減すべきだと言われ続け、何としてもこれを流通してはかせていかなければいけない。輸入米は一般に安くしないと流通されない。そこでSBS方式の中で安く売るために生まれた知恵が調整金だったのではないのか。」

**山本国務大臣**「調整金なる存在、これがあるときとないとき、さらには多様な態様での授受がありますので、その点を含めて全てを把握したうえで検討、判断させていただきます。」

**島山議員**「多様な態様の授受があり得ることを大臣は認めました。価格に対して調整金が影響を与えていることについても、調査結果を出すということでもよろしいですね。」**山本国務大臣**「そのとおりでございます。」**島山議員**「結局は、内外価格差があつて、その影響を防ぐための国家貿易だということを認めた。大臣も当初、国内産米の価格に変動はありませんと言ってきた。そのことと異なるわけですから、この価格への影響について徹底的な調査を出すことを改めて求めたいと思います。輸入米と国産米の価格が違うなら、TPP試算の前提も違ってくるのではないのか。」

「SBS米は現在10万ト輸入枠があり、今度TPPにおいて、新たな枠として米国と豪州から最大7・84万ト加わる、さらにミニマムアクセス米の一般枠に新たなSBS米枠を6万ト設けるとしています。SBS米の多くは外食、中食の業務用、この作付けを増やしている県のTPP影響試算、青森23億円、福井15億2千万円、熊本13億6千万円と輸入米と競合する生産減少額を試算しています。総理は影響ゼロだと言いつつ、この地方自治体の試算は誤りになるのですか。」

島山和也  
衆院議員



質問する島山議員  
= 4日、衆院予算委  
(写真はしんぶん赤旗提供)